

ニ於テハ事前ニ内閣總理大臣ニ協議スベキコトヲ規定シ、協議ヲ受ケル機會ニ於テ總動員業務ノ統一調整ニ遺憾ナカラシメントスルモノデアリマス。又第二條ハ内閣總理大臣ノ方カラ關係各廳ニ對シテ國家總動員法ノ施行ニ關スル事項ニ付統轄上必要ナル指示ヲ爲シ得ルコトニ致シタモノデアリマス。

本勅令ノ運用ニ依リマシテ政府ハ國家總動員業務ノ一層迅速且圓滑ナル實施ヲ期待シ得ルモノト信ジテ是ル次第デアリマス。

昭和十四年十月十三日
十月十六日
十月十六日
十月十六日

昭和十四年十月十三日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

五

法制局長官



外務大臣

五

陸軍大臣

五

文部大臣

五

逓信大臣

五

厚生大臣

五

内務大臣

五

海軍大臣

五

農林大臣

五

鐵道大臣

五

大藏大臣

五

司法大臣

五

商工大臣

五

拓務大臣

五

別紙内閣總理大臣及大藏陸軍海軍農林商工逓

信鐵道拓務厚生九大臣請議價格等統制令制定ノ件

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通

法制局

閣議決定セラレ可然ト認ム

勅令案

朕價格等統制令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十四年十月十六日

内閣總理大臣

大藏大臣

陸軍大臣

海軍大臣

農林大臣

商工大臣

逓信大臣

鐵道大臣

拓務大臣

厚生大臣

勅令第七百三號

呈案附箋ノ通

昭和十四年十月十三日

價格等統制令制定ノ件

石閣議ヲ請フ

昭和十四年十月十三日

內閣總理大臣 河部 信行



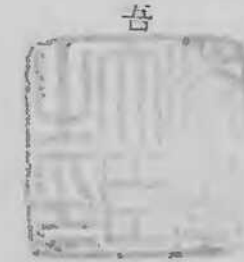
大藏大臣 青木 一



陸軍大臣 畑 俊 六



海軍大臣 吉田 善 吾



日本国憲法第114条

農林大臣 伍 堂 卓 雄



商工大臣 伍 堂 卓 雄



逓信大臣 永 井 柳 大 郎



鐵道大臣 永井 柳太郎



拓務大臣 金光 庸



厚生大臣 小原



内閣總理大臣 阿部 信行 殿

日本標準規格B4用

價格等統制令

第一條 國家總動員法、
南洋群島ニ於テ以下同シ第十九條ノ規定ニ基キ價格、運送費、保管料、損害保險料、賃貸料又ハ加工賃（以下價格等ト稱ス）ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 價格等ハ昭和十四年九月十八日（以下指定期日ト稱ス）ニ於ケル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合及本令施行ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ

各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 注文生産品ノ價格ニ付生産者が生産ニ著手シタルモノ

二 其ノ他ノ價格ニ付買主其ノ他ノ支拂者が目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ

三 運送費又ハ加工費ニ付運送人又ハ加工者が目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ

四 保管料、損害保険料又ハ賃貸料ニ付支拂者が履行遅滞ニ在ルモノ

前項ノ指定期日ニ於ケル額ハ價格等ノ受領者ニ付テノ額ニ依リ受領者別ニ定マルモノトシ指定期日ニ爲シタル契約アル場合ハ其ノ契約

(日本標準規格B4列) (繰原納)

額(同ジ事情ノ下ニ於テ數種ノ契約額アリタルトキハ其ノ最高額)、偶々指定期日ニ爲シタル契約ナカリシ場合ハ契約ヲ爲シタルベキ額トス

價格等ニ付前項ノ規定ニ依ル額ナキ場合ニ於テハ關令ノ定ムルモノヲ以テ指定期日ニ於ケル額トス

第三條 商工農業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ關令ノ定ムル所ニ依リ前條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ及其ノ構成員(構成員カ組合其他之ニ準ズルモノナル場合ハ其ノ構成員ヲモ含ム、第二項ノ場合亦同ジ)ニ付テハ其ノ額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看

11
T
W
P
L

ス

第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ハ此等ノ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際、前條第一項但書各號ノ一二

(日本標準規格B1列) (榛原納)

該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條 行政官廳ハ指定期日ニ於ケル額（前條）ハ第二十條ノ規定ニ

依り看做サルルモノヲ除クハガ著シク不當ト認メラルルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依り其ノ額ヲ引下クルコトヲ得但シ其ノ引下實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第五條 前三條ノ規定ハ有價證券ノ價格及質貸料、土地及建物ノ價格其ノ他閣令ヲ以テ定ムル價格等ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六條 價格等ハ第二條乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ他ノ法令ニ定ムル額又ハ他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ

做ス

行政官廳必要アルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ商工農業者等ノ組合
其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル
者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノニ付テモ前項ノ規定ニ依ル額ヲ以
テ指定期日ニ於ケル額ト看做スコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル額ノ
變更アリタルトキハ前項ノ額ハ當該變更額ニ變更セラレタルモノト
ス

第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ハ此等ノ處分
實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際、前條第一項但書各號ノ一ニ

(日本標準規格B1列) (繰原納)

該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條 行政官廳ハ指定期日ニ於テ又ハ第二十條ノ規定ニ
依リ看做サルルモノヲ除クハ著シク不當ト認メラルルトキハ閣令
ノ定ムル所ニ依リ其ノ額ヲ引下クルコトヲ得但シ其ノ引下實施ノ際
現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スル
モノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第五條 前三條ノ規定ハ有價證券ノ價格及賃貸料、土地及建物ノ價格
其ノ他閣令ヲ以テ定ムル價格等ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六條 價格等ハ第二條乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ他ノ法令ニ定ムル
額又ハ他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ

處分アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得
ズ但シ本令施行後ノ處分ハ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ
際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボ
スコトナシ

前項ノ他ノ法令ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 前條ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳閣令ノ定ムル所ニ依
リ價格等（有價證券ノ價格及賃貸料ヲ除ク以下同ジ）ノ額ヲ指定シ
タルトキハ第二條乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契
約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ價
格等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此

（日本標準規格B4型）（模写納）

ノ限ニ在ラズ

前項ノ指定ハ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一
項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第八條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更（第六條ニ規定
スル他ノ法令ニ依ルモノ及他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、
許可、認可其ノ他ノ處分アリタルモノヲ除ク）ニシテ支拂者ニ不利
益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ價格等ノ額ノ引上ト看做ス
第九條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第二條、第六條又ハ第七條ノ
規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格

等ノ原價ニ關シ計算ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條

、ノ規定ニ依リ生産、販賣、運送、保管、賃貸、損害保險若ハ加工ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、販賣所、倉庫、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十二條 本令ハ左ニ掲グル價格等ニハ之ヲ適用セズ

(日本標準規格B4列) (様原納)

一 取引所又ハ日本米穀株式會社若ハ朝鮮米穀市場株式會社ノ開設

スル米穀市場ニ於ケル賣買取引ノ價格

二 關東州、滿洲及支那以外ノ地下本令施行地トノ間ニ於ケル輸出入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケル運送ノ運送賃

三 其ノ他閣令ヲ以テ定ムルモノ

第十三條 本令ハ契約ノ當事者ニシテ營利ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザルモノニハ之ヲ適用セズ但シ當該契約ヲ爲スコトガ自己ノ業務ニ關スル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第十五條

本令ノ施行ニ關スル主務大臣ハ左ノ各號ニ定ムル所ニ依ル

一 農林水產物ノ生産者及其ノ組織スル法人ノ販賣スル場合ノ農林水產物ノ價格竝ニ農林水產業專用物品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣

二 酒造稅法ノ酒類竝ニ酒精及酒精含有飲料稅法ノ酒精及酒精含有飲料ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ商工大臣及大藏大臣

三 醫藥品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ商工大臣及厚生大臣

四 運送貨竝ニ運送ニ直接關聯スル保管料及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ陸上運送ニ在リテハ鐵道大臣、水上運送及航空運送ニ在リテハ遞信大臣

五 田、畑、山林及原野ノ價格及賃貸料、家畜ノ賃貸料、農林水產物ノ保管ヲ目的トスル倉庫（倉庫營業者及商工業者ノ組織スル法人ノ營ム倉庫ヲ除ク）ノ保管料竝ニ閣令ヲ以テ定ムル農林水產物

（日本標準規格B4別）（據原納）

及農林水產業專用物品ノ加工賃ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣

六 船舶ノ價格及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ遞信大臣但シ總噸數

二十噸未満ノ漁船ノ賣買價格及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ農林

大臣及遞信大臣

七 兵器彈藥艦船等ニシテ軍機保護上必要アルモノニ關スル第二條ニ規定スル事項ニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣

八 前各號ノ場合ヲ除クノ外商工大臣

九 第六條ニ規定スル法令ニ於テ規定スル價格等ニ關スル事項ニ付テハ前各號ニ拘ラズ當該法令ニ於ケル主務大臣

第十六條 前條第七號ニ掲グル場合ヲ除クノ外本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附 則

第十七條 本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 第二條乃至第四條ノ規定ハ昭和十五年十月十九日迄其ノ效

(日本標準規格B4列) (模原納)

力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第十九條 左ニ掲グル命令ハ之ヲ廢止ス

昭和十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產業用品販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第三十一號ステールファイバー及ステールファイバー絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則

内務

閣下

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則

昭和十四年商工省令第六十三號絹紡絲販賣價格取締規則

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則

昭和十三年臺灣總督府令第一百十四號物品販賣價格取締規則

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則

左ニ掲グル規定ハ之ヲ削除ス

昭和十三年商工省令第四十五號皮革配給統制規則第九條及第十條

昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號（昭和十二年法律第九十二號

第二條ノ規定ニ依ル、皮革ノ配給統制ニ關スル件）第八條及第九

（日本標準規格B4列）（採原納）

條

昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮革配給統制規則第五條及第

六條

昭和十四年樺太廳令第二十六號皮革配給統制規則第六條及第七條

前二項ニ掲グル命令及規定ハ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰

則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第二十條 左ニ掲グル規定ニ依ル農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺

灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ノ指定シタル日ニ於ケル販賣價

格ハ之ヲ第二條ノ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產業用品販賣

價格取締規則第一條

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年臺灣總督府令第一百十四號物品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則第一條

第二十一條

左ニ掲グル規定ニ依リ農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官、南洋廳長官、地方長官、朝鮮總督府道知事、

(日本標準規格B1列) (據原納)

臺灣總督府州知事若ハ廳長又ハ南洋廳支廳長ノ爲シタル販賣價格指定又ハ許可ハ第二條第一項但書又ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ各相當ノ行政官廳ノ爲シタル價格ノ額ノ指定又ハ許可ト看做ス但シ閣令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

昭和十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產業用品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十三年商工省令第三十一號ステールファイバー及ステールファイバー絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十三年商工省令第四十五號皮革配給統制規則第九條

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則第一條

第二項

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則第一條第二

項

昭和十四年商工省令第六十三號絹紡絲販賣價格取締規則第一條第

二項

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則

第一條

(日本標準規格B4列) (繰原納)

昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號(昭和十二年法律第九十二號

第二條ノ規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル件)第八條

昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮革配給統制規則第五條

昭和十三年臺灣總督府令第一百十四號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配給統制規則第六條

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則第

一條

理由

内外時局ノ推移ニ因ル物價ノ騰勢ニ鑑ミ價格、運送費、保管料、損害
保険料、賃貸料又ハ加工費ニ付、之ガ引上ヲ禁止スル爲必要ナル措置
ヲ講ズルト共ニ適正價格等ニ依ル價格等ノ統制ヲ廢汎且急速ニ實施ス
ルノ要アルニ由ル

(日本標準規格B4列) (捺原納)

覺書

價格等統制令ニ依リ總噸數二十噸以上ノ漁船ノ賣買價格及賃貸料ニ付
處分ヲ爲ス場合ニ於テハ遞信大臣ハ豫メ農林大臣ニ協議スルモノトス

附記

價格等統制令第十五條第六号但書ノ漁船ノ賣買價格及賃貸料ハ漁船トシテ賣買人ハ賃貸人ニ
場合ノ賣買價格ハ賃貸料ニ限ルモノトス

遞	農
信	林
次	次
官	官

價格等統制令

第百六号 但書ノ適用

ノ賣買價格及貸付上ノ取組ヲ適用ス

レハ貸買又ハ貸付上ノ協定、貸買價格又ハ

貸付上ノ取組

新法

内閣

覺 書

價格統制令ノ所管中農林水產物及農林水產業專用物品ノ加工賃ニ付テ
ハ企畫院及法制局ニ於テ關係省ト協議ノ上急速ニ之ガ調整ヲ圖ルモノ
トス

企	法	農	商
畫	制	林	工
院	局	省	省
次長		次官	次官





一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

2
171

勅令第 號

價格等統制令

第一條 國家總動員法第十九條ノ規定ニ基キ價格、運送費、保管料、損害保険料、賃貸料又ハ加工費（以下價格等ト稱ス）ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 價格等ハ昭和十四年九月十八日（以下指定期日ト稱ス）ニ於ケル額ヲ超エテ之ヲ契約レ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合、價格、運送費若ハ加工費ニ付買主、運送人若ハ加工者ガ本令施行前目的物ノ引渡ヲ受ケタル場合又ハ保管料、損害保険料若ハ賃貸料ニ付本令施行前支拂者ガ履行遲滞ニ在ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ指定期日ニ於ケル額ハ價格等ノ受領者ニ付テノ額ニ依リ受領者別ニ定ムルモノトシ指定期日ニ締結シタル契約アリタル場合ハ其ノ契約額（他ノ條件ヲ同ジクスル數額ノ契約額アリタルトキハ其ノ

最高額)、休業等ニ因リ偶々指定期日ニ締結シタル契約ナカリシ場合ハ契約ヲ締結シタルベキ額トス

商工農業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケ指定期日ニ於ケル額ニ代ルベキ額ヲ定メタルトキハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ又ハ其ノ構成員(構成員ガ組合又ハ之ニ準ズルモノナル場合ハ其ノ構成員ヲ含ム第四項ノ場合亦同ジ)ニ付テハ其ノ額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

行政官廳必要アルトキハ商工農業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノニ付テモ前項ノ額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做スコトヲ得

價格等ニ付指定期日ニ於ケル額ナキ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ定メタルモノヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

第三條 行政官廳ハ指定期日ニ於ケル額(前條第三項及第十七條ノ規定ニ依リ看做サルモノヲ除ク)ガ著シク不當ト認メラルトキハ

命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ額ヲ引下グルコトヲ得但シ其ノ引下前締結シタル契約ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 前二條ノ規定ハ有價證券、土地及建物ノ價格其ノ他命令ヲ以テ定ムル價格等ニ付テハ之ヲ適用セズ

第五條 價格等ハ第二條及第三條ノ規定ニ拘ラズ他ノ法令ニ依リ行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ

第六條 前條ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳命令ノ定ムル所ニ依リ價格等(有價證券ノ價格及質貸料ヲ除ク以下同ジ)ノ額ヲ指定シタルトキハ第二條(及第三條)ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ價格等ニ影響ヲ及ボスベキ支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更（他ノ法令ニ依リ行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタルモノヲ除ク）ニシテ支拂者ニ不利益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ價格等ノ額ノ引上ト看做ス

第九條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第二條、第五條又ハ第六條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ原價ニ關シ計算ヲ爲シムルコトヲ得

第十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ生産、販賣、運送、保管、質貸、保險若ハ加工ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、販賣所、倉庫、事務

所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十二條 本令ハ左ニ掲グル價格等ニハ之ヲ適用セズ

一 取引所又ハ日本米穀株式會社若ハ朝鮮米穀市場株式會社ノ開設スル米穀市場ニ於ケル販賣取引價格

二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル運送ノ運送賃又ハ輸出入取引ノ價格

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ

第十三條 本令ハ契約ノ當事者ニシテ營利ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザル者ニハ之ヲ適用セズ但シ當該契約ヲ爲スコトガ自己ノ業務ニ屬スル者ニ付テハ此限ニ在ラズ

第十四條 本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ

在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ國令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニアリテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附 則

第十五條 本令ハ昭和十四年十月十日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條 第二條乃至第四條ノ規定ハ昭和十五年十月九日迄其ノ效力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル第二條乃至第四條ノ規定ノ違反行爲ノ處罰ニ關シテハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第十七條 左ニ掲グル命令ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則

昭和十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產農用品販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第三十一號ステープルファイバー及ステープルファイバー絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則

昭和十三年臺灣總督府令第一百十四號物品販賣價格取締規則

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則

左ニ掲グル規定ハ之ヲ削除ス

昭和十三年商工省令第四十五號皮革配給統制規則第九條及第十條

昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號（昭和十二年法律第九十二號

第二條ノ規定ニ依ル、皮革ノ配給統制ニ關スル件）第八條及第九

條

昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮革配給統制規則第五條及第六條

昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配給統制規則第六條及第七條

前二項ニ掲グル命令及規定ハ本令施行前ニ爲シタル其ノ違反行爲ノ處罰ニ關シテハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第十八條 本令施行前左ニ掲グル規定ニ基キ農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ノ指定シタル日ニ於ケル販賣價格ハ之ヲ第二條ノ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產業用品販賣價格取締規則第一條（及第三條）

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則

第一條

昭和十三年臺灣總督府令第一百十四號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則第一條

第十九條 前條ニ掲グル指定ヲ除クノ外本令施行前左ニ掲グル規定ニ

基キ農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官、南洋廳長官、地方長官、朝鮮總督府道知事、臺灣總督府州知事若ハ廳長又ハ南洋廳支廳長ノ爲シタル處分ハ第五條ノ規定ニ基キ各相當ノ行政官廳ノ爲シタル處分ト看做ス

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產業用品販賣

價格取締規則第一條及第三條

昭和十三年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則第一條第二

項

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則第一條第二

項

昭和十三年商工省令第三十一號ステイブルファイバー及ステープルファイバー絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十三年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則第一條
第二項

昭和十三年商工省令第四十五號及皮革配給統制規則第九條
昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則
第一條

昭和十三年臺灣總督府令第四百十四號物品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則第
一條

昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號（昭和十二年法律第九十二號
第二條ノ規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル件）第八條

昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮革配給統制規則第五條

昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配給統制規則第六條

朕帝國議會ノ協贊ヲ經テル國家總動員法ヲ
裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十三年三月三十一日

內閣總理大臣 公爵 近衛 文麿
外務大臣 廣田 弘毅
海軍大臣 米內 光政
司法大臣 鹽野 季彦
陸軍大臣 杉山 元
逓信大臣 永井柳太郎
大藏大臣 賀屋 興宣
農林大臣 伯耆 有馬 賴寧
商工大臣 吉野 信次
鐵道大臣 中島知久平
拓務大臣 大谷 尊由
文部大臣 兼 侯爵 木戶 幸一
厚生大臣 末次 信正
內務大臣 末次 信正

法律第五十五號（官報 四月一日）

國家總動員法

第一章 總則

第一條 本法ニテ總動員業務トハ左ニ掲
グルモノヲ謂フ

之ニ同ジニ際シ國防目的達成ノ爲國ノ全
力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル様人の及物
的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ
第二條 本法ニ於テ總動員物資トハ左ニ掲
グルモノヲ謂フ
一 兵器、艦艇、彈藥其ノ他ノ軍用物資
二 國家總動員上必要ナル被服、食糧、飲
料及飼料
三 國家總動員上必要ナル醫藥品、醫療
機械器具其ノ他ノ衛生用物資及家畜衛
生用物資
四 國家總動員上必要ナル船舶、航空機、
車輛、馬其ノ他ノ輸送用物資
五 國家總動員上必要ナル通信用物資
六 國家總動員上必要ナル土木建築用物
資及照明用物資
七 國家總動員上必要ナル燃料及電力
八 前各號ニ掲グルモノノ生産、修理、配
給又ハ保存ニ要スル原料、材料、機械器
具、裝置其ノ他ノ物資
九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令
ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル
物資

第三條 本法ニ於テ總動員業務トハ左ニ掲
グルモノヲ謂フ
一 總動員物資ノ生産、修理、配給、輸出、
輸入又ハ保管ニ關スル業務
二 國家總動員上必要ナル運輸又ハ通信
ニ關スル業務
三 國家總動員上必要ナル金融ニ關スル
業務
四 國家總動員上必要ナル衛生、家畜衛
生又ハ救護ニ關スル業務
五 國家總動員上必要ナル教育訓練ニ關
スル業務
六 國家總動員上必要ナル試驗研究ニ關
スル業務
七 國家總動員上必要ナル情報又ハ啓發
宣傳ニ關スル業務
八 國家總動員上必要ナル警備ニ關スル
業務
九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令
ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル
業務

第四章

附則

第五條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國法人其ノ他ノ團體ヲシテ國又ハ地方公共團體ノ行フ總動員業務ニ付協力セシムルコトヲ得

第六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ從業者ノ使用、雇入若ハ解雇又ハ賃金其ノ他ノ勞働條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞働爭議ノ豫防若ハ解決ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ作業所ノ閉鎖、作業若ハ勞務ノ中止其ノ他ノ勞働爭議ニ關スル行爲ノ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ

處分、使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ輸出入ノ制限若ハ禁止ヲ爲シ、輸出若ハ輸入ヲ命ジ、輸出税若ハ輸入税ヲ課シ又ハ輸出税若ハ輸入税ヲ増課若ハ減免スルコトヲ得

第十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

第十一條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ設立、資本ノ増加、合併、目的變更、社債ノ募集若ハ第二回以後ノ株金ノ拂込ニ付制限若ハ禁止ヲ爲シ、會社ノ利益金ノ處分、償却其ノ他經理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ銀行、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ指定スル者ニ對シ資金ノ運用ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十二條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ總動員業務タル事業ヲ營

付商法第二百條又ハ第二百十條ノ規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十三條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ニ屬スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ全部又ハ一部ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

第十四條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總

日本標準規格田型(十一行令)

業權、砂礫權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

第十五條 前二條ノ規定ニ依リ收用シタルモノ不用ニ歸シタル場合ニ於テ收用シタル時ヨリ十年内ニ拂下グルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ舊所有者若ハ舊權利者又ハ其ノ一般承繼人ハ優先ニ之ヲ買受クルコトヲ得

第十六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ制限若ハ禁止シ又ハ總動員業務タル事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ命ズルコトヲ得

第十七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル同種若ハ異種ノ事業ノ事業主間ニ於ケル當該事業ニ關スル統制協定ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制協定ノ設定、變更若ハ取消ヲ命ジ又ハ統制協定ノ加盟者若ハ其ノ統制協定

ニ加盟セザル事業主ニ對シ其ノ統制協定ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル同種又ハ異種ノ事業ノ事業主ニ對シ當該事業ノ統制ヲ目的トスル組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ組合ハ法人トス

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ政府ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ組合成立シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ組合ノ組合員タルシムルコトヲ得

政府ハ第一項ノ組合ニ對シ其ノ組合員ノ營業ニ關スル統制規程ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制規程ノ設定若ハ變更ヲ命ジ又ハ其ノ組合員ニ對シ組合ノ統制規程ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第一項ノ組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、保險料、賃賃料又ハ加工賃ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ新聞紙其ノ他ノ出版物ノ掲載ニ付制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル新聞紙其ノ他ノ出版物ニシテ國家總動員上支障アルモノノ發賣及頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フルコトヲ得此ノ場合ニ於テ合併セテ其ノ原版ヲ差押フルコトヲ得

第二十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ヲ申告セシメ又ハ帝國臣民ノ職業能力ニ關シ検査スルコトヲ得

第二十二條 政府ハ國家總動員上必要アル
トキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學校、養成
所、工場、事業場其ノ他技能者ノ養成ニ適
スル施設ノ管理者又ハ養成セラルベキ者
ノ監督主ニ對シ國家總動員上必要ナル技
能者ノ養成ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコ
トヲ得

第二十三條 政府ハ國家總動員上必要アル
トキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資
ノ生産、販賣又ハ輸入ヲ業トスル者ヲシ
テ當該物資又ハ其ノ原料若ハ材料ノ一定
數量ヲ保有セシムルコトヲ得

第二十四條 政府ハ國家總動員上必要アル
トキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務
タル事業ノ事業主又ハ戰時ニ際シ總動員
業務ヲ實施セシムベキ者ヲシテ戰時ニ際
シ實施セシムベキ總動員業務ニ關スル計
畫ヲ設定セシメ又ハ當該計畫ニ基キ必要
ナル演練ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條 政府ハ國家總動員上必要アル
トキハ總動員物資ノ生産若ハ修理ヲ業ト
スル者又ハ試驗研究機關ノ管理者ニ對シ
試驗研究ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條 政府ハ國家總動員上必要アル
トキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資
ノ生産又ハ修理ヲ業トスル者ニ對シ豫算
ノ範圍内ニ於テ一定ノ利益ヲ保證シ又ハ
補助金ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於
テ政府ハ其ノ者ニ對シ總動員物資ノ生産
若ハ修理ヲ爲サシメ又ハ國家總動員上必
要ナル設備ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
第八條、第十條、第十三條若ハ第十四條ノ
規定ニ依ル處分、第九條ノ規定ニ依ル輸
出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依
ル資金ノ融通若ハ有價證券ノ應募、引受
若ハ買入ノ命令又ハ第十六條ノ規定ニ依
ル設備ノ新設、擴張若ハ改良ノ命令ニ因
リ生ジタル損失ヲ補償ス

第二十八條 政府ハ第二十二條、第二十三
條又ハ第二十五條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲
ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之
ニ因リ生ジタル損失ヲ補償シ又ハ補助金
ヲ交付ス

第二十九條 前二條ノ規定ニ依ル補償ノ金
額及第十五條ノ規定ニ依ル拂下ノ價額ハ
總動員補償委員會ノ議ヲ經テ政府之ヲ定
ム

第三十條 政府ハ第二十六條又ハ第二十八
條ノ規定ニ依リ利益ノ保證又ハ補助金ノ
交付ヲ受クル事業ヲ監督シ之ガ爲ニ必要ナ
ル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アル
トキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ
又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢
シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件
ヲ檢査セシムルコトヲ得

第三十二條 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違
反シ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシ
タル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下
ノ罰金ニ處ス

日本標準規格用紙(十二行令)

前項ノ場合ニ於テ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又
ハ爲サントシタル物ニシテ犯人ノ所有シ
又ハ所持スルモノハ之ヲ沒收スルコトヲ
得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト
能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコト
ヲ得

第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ
三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ
處ス

一 第七條ノ規定ニ依ル命令又ハ制限若
ハ禁止ニ違反シタル者

二 第八條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタ
ル者

三 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ輸
出又ハ輸入ヲ爲サザル者

四 第十條ノ規定ニ依ル總動員物資ノ使
用又ハ收用ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタ
ル者

五 第十三條ノ規定ニ依ル施設、土地若
ハ工作物ノ管理、使用者ハ收用又ハ從
業者ノ供用ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタ
ル者

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ
二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ
處ス

一 第十一條ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止
又ハ命令ニ違反シタル者

二 第十六條ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止
又ハ命令ニ違反シタル者

三 第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定
ニ違反シ認可ヲ受ケズシテ統制協定若
ハ統制規程ヲ設定、變更若ハ廢止シ又
ハ第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定
ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第二十三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反
シ保有ヲ爲サザル者

五 第二十六條ノ規定ニ違反シ生産修
理又ハ設備ヲ爲サザル者

第三十五條 前三條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ
情狀ニ因リ懲役及罰金ヲ併科スルコトヲ
得

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ
一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處
ス

一 第四條ノ規定ニ依ル徵用ニ應ゼズ又
ハ同條ノ規定ニ依ル業務ニ從事セザル
者

二 第六條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタ
ル者

第三十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ
三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ニ違反
シタル者

二 第二十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反
シ計畫ノ設定又ハ演練ヲ爲サザル者

三 第二十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反
シ試驗研究ヲ爲サザル者

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ
千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ
違反シ組合ノ設立ヲ爲サザル者

二 第三十條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分
ニ違反シタル者

三 第三十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ
又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者
第三十九條 第二十條第一項ノ規定ニ依ル
制限又ハ禁止ニ違反シタルトキハ新聞紙
ニ在リテハ發行人及編輯人、其ノ他ノ出
版物ニ在リテハ發行者及著作者ヲ二年以
下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金
ニ處ス
新聞紙ニ在リテハ編輯人以外ニ於テ實際
編輯ヲ擔當シタル者及掲載ノ記事ニ署名
シタル者亦前項ニ同ジ
第四十條 第二十條第二項ノ規定ニ依ル差
押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ六月以下
ノ懲役若ハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ
處ス
第四十一條 前二條ノ罪ニハ刑法併合罪ノ
規定ヲ適用セズ
第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該
官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル
者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰
金ニ處ス

第四十三條 第二十一條ノ規定ニ違反シテ
申告ヲ怠リ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌
避シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留
若ハ科料ニ處ス
第四十四條 總動員業務ニ従事シタル者其
ノ業務遂行ニ關シ知得シタル當該官廳指
定ノ總動員業務ニ關スル官廳ノ機密ヲ漏
泄又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役
又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
公務員又ハ其ノ職ニ在リタル者職務上知
得シタル當該官廳指定ノ總動員業務ニ關
スル官廳ノ機密ヲ漏泄又ハ竊用シタルト
キハ五年以下ノ懲役ニ處ス
第四十五條 公務員又ハ其ノ職ニ在リタル
者本法ノ規定ニ依ル職務執行ニ關シ知得
シタル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏泄
又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又
ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
第四十六條 第十八條第一項又ハ第三項ノ
規定ニ依リ設立シタル組合ノ役員其ノ職
務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ
約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス

四 不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ
爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス
前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ
沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スル
コト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス
第四十七條 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ
賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二
年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處
ス
前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ
其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得
第四十八條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人
ノ代理人、使用人其ノ他ノ従業者其ノ法
人又ハ人ノ業務ニ關シ第三十二條乃至第
三十四條、第三十六條第二號、第三十七
條、第三十八條又ハ第四十三條前段ノ違
反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スル
ノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金
刑又ハ科料刑ヲ科ス
第四十九條 前條ノ規定ハ本法施行地ニ本
店又ハ主たる事務所ヲ有スル法人ノ代表
者、代理人、使用人其ノ他ノ従業者若ハ本
法

日本標準規格四六(十一行全)

施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適
用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人ノ代理
人、使用人其ノ他ノ従業者若ハ本法施行地
外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同ジ
本法ノ罰則ハ本法施行地外ニ於テ罪ヲ犯
シタル帝國臣民ニモ之ヲ適用ス
第五十條 本法施行ニ關スル重要事項(軍
機ニ關スルモノヲ除ク)ニ付政府ノ諮問
ニ應ズル爲メ國家總動員審議會ヲ置ク
國家總動員審議會ニ關スル規程ハ勅令ヲ
以テ之ヲ定ム
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
軍需工業動員法及昭和十二年法律第八十八
號ハ之ヲ廢止ス
本法施行前軍需工業動員法ニ基キテ爲シタ
ル命令又ハ處分ハ之ヲ本法中ノ相當規定ニ
基キテ爲シタルモノト看做ス
軍需工業動員法ニ違反シタル者ノ處罰ニ付
テハ仍舊法ニ依ル

(參照)

明治三十二年三月九日法律第四十八號商法抄錄
第二百條 社員ノ總額ハ株式總額ニ超ユル
コトヲ得ス
最終ノ負債額表ニ依リ會社ニ現存スル財産カ前
項ノ金額ニ超タルトキハ社員ノ總額ハ其財産ノ
額ニ超ユルコトヲ得ス
第二百十條 會社ノ資本ハ株式總額拂込ノ後ニ非サ
レハ之ヲ増加スルコトヲ得ス
昭和十二年九月十日法律第八十八號ハ軍需工業動員法
ノ適用ニ關スル件ナリ

内閣

昭和十四年九月六日	農林省令第四十二號	日本標準規格田(十一行全)
農林省令第四十二號 昭和十四年九月六日	農林省令第四十二號 昭和十四年九月六日	農林省令第四十二號 昭和十四年九月六日

日本標準規格田(十一行全)

参照

農林省令第四十二號

昭和十二年法律第九十二號第二條及第三條ノ規定ニ依リ農林水産物及農林水産業用品販賣價格取締規則左ノ通定ム

昭和十四年九月六日

農林大臣 伍堂 卓雄

農林水産物及農林水産業用品販賣價格取締規則

第一條 農林水産物ノ生産者、産業組合、産業組合聯合會、漁業組合、漁業組合聯合會、畜産組合、畜産組合聯合會、森林組合又ハ農林水産物ノ生産者ノ組織スル法人ニシテ農林大臣ノ指定スルモノハ農林大臣ノ指定スル農林水産物ヲ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ其ノ指定ノ際農林大臣ノ指定スル年月日ニ於ケル販賣價格ヲ、農林大臣又ハ地方長官ガ販賣價格ヲ指定シタルトキハ其ノ販賣價格ヲ超ユル對價ヲ以テ販賣(指定前ニ爲シタル契約ニ依ル引渡ヲ含ム)スルコトヲ得ズ但シ輸出

スル場合及ビムヲ得ザル事由ニ因リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 前條ニ規定スル者ハ當該物品ノ販賣ニ當リ前條ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユル對價ヲ以テ之ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉グル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ物品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行為ヲ爲スコトヲ得ズ

第三條 前二條ノ規定ハ農林大臣ノ指定スル農林水産業專用物品ニ付其ノ生産者其ノ他其ノ販賣ヲ爲ス者ニ之ヲ準用ス

第四條 農林大臣又ハ地方長官ハ第一條ニ規定スル者又ハ前條ニ規定スル者ニ對シ價格統制上必要ナル事項ノ報告ヲ命ズルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

参照

綿絲販賣價格取締規則

昭和十三年五月二十日
商工省令第二十四號

綿絲ノ價格ヲ調整シ其ノ價格及取引ヲ公正ナラシムル爲メ昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リ綿絲販賣價格取締規則左ノ通定ム

第一條 綿絲ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ最高價格ヲ超スル對價ヲ以テ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ

但シ輸出品又ハ輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フルモノヲ販賣スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ綿絲ノ種類及最高價格ハ商工大臣之ヲ告示ス

第二條 前條第二項ノ種類ノ綿絲ノ販賣ニ當リテハ其ノ最高價格ヲ超スル對價ヲ以テ之ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉ゲル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ商品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行為ヲ爲スコトヲ得ズ

第三條 第一條第二項ノ種類ノ綿絲ハ其ノ販賣ヲ爲ス月ヨリ五月日以後ニ於テ受渡ヲ爲スコトヲ條件トシテ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ但シ輸出品又ハ輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フルモノヲ販賣スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 第一條第二項ノ種類ノ綿絲以外ノ綿絲ヲ販賣シタル者ハ毎月十日迄ニ前月中ノ販賣數量及金額ヲ別記様式ニ依リ商工大臣ニ提出シベシ

附則
本則ハ昭和十三年五月二十二日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式

昭和十三年十月一日以後ニ於テハ本則施行前ニ爲シタル販賣契約ニ基キ第一條第二項ノ種類ノ綿絲ノ引渡ヲ爲スコトヲ得ズ但シ昭和十三年十月又ハ十一月ニ引渡ヲ爲ス純綿絲ニシテ其ノ販賣價格ヲ本則施行ノ日ニ於ケル其ノ最高價格ヲ超エザルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一、販賣契約表

住所 氏名又ハ名稱

約定月日	販賣先	種類	綿絲ノ銘柄	單價	價販賣數量	引渡月
計						

二、引渡表

引渡月日	引渡先	種類	綿絲ノ銘柄	單價	引渡數量	販賣約定月日
計						

(記載注意)

綿絲ノ種類欄ニハ純綿絲用綿絲別、單絲合攪絲合絲別、生綿絲加工絲別及番手別ニ記入スルコト

内内

内内

日本銀行印刷部印刷

参 照

●ステープルファイバー及ステープルファイバー糸販賣價格取締規則

規則

昭和十三年六月十五日
商工省令第三十一號

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リステープルファイバー及ステープルファイバー糸販賣價格取締規則左ノ通定ム

ステープルファイバー及ステープルファイバー糸糸販賣價格取締規則

第一條 ステープルファイバー又ハステープルファイバー糸何等ノ名義ヲ以テスル間ハズ最高價格ヲ超ユル對價ヲ以テ之ヲ販賣スルコトヲ得

ズ但シ輸出スル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノステープルファイバー及ステープルファイバー糸ノ種類及最高價格ハ商工大臣之ヲ告示ス

第二條 前條第二項ノ種類ノステープルファイバー又ハステープルファイバー糸ノ販賣ニ當リテハ其ノ最高價格ヲ超ユル對價ヲ以テ之ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉ゲル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ商品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行為ヲ爲スコトヲ得ズ

第三條 第一條第二項ノ種類ノステープルファイバー又ハステープルファイバー糸ハ其ノ販賣ヲ爲スヨリ五月以後ニ於テ受渡ヲ爲スコトヲ條件トシテ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ但シ輸出スル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ

商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 第一條第二項ノ種類ノステープルファイバー及ステープルファイバー糸以外ノステープルファイバー又ハステープルファイバー糸ノ販賣シタル者ハ毎月十日迄ニ前月中ノ販賣數量及金額ヲ別記様式ニ依リ商工大臣ニ提出スベシ

内閣
閣議

附則

本則ハ昭和十三年六月十八日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十三年九月一日以後ニ於テハ本則施行前ニ爲シタル販賣契約ニ基キ第
一條第二項ノ種類ノステープルファイバー又ハステープルファイバーノ
引渡ヲ爲スコトヲ得ズ但シ昭和十三年九月ニ引渡ヲ爲スモノニシテ其ノ販
賣價格ガ本則施行ノ日ニ於ケル其ノ最高價格ヲ超エザルモノニ付テハ此ノ
限ニ在ラズ

別記様式

住所 氏名又ハ名稱

一 ステープルファイバー

(一) 販賣契約表

計	約定 月日	先 販	ステープル ファイバー 種類	ステープル ファイバー 銘柄	單 價	販 賣 月日

(二) 引渡表

計	引渡 月日	先 引	ステープル ファイバー 種類	ステープル ファイバー 銘柄	單 價	引 渡 月日

日本標準規格四六十一行全

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
舊規定ニ違反シタル行爲ニ付テハ仍從前ノ
例ニ依ル

二 ステープルファイバー

(一) 販賣契約表

計	約定 月日	先 販	ステープル ファイバー 種類	ステープル ファイバー 銘柄	單 價	販 賣 月日

(二) 引渡表

計	引渡 月日	先 引	ステープル ファイバー 種類	ステープル ファイバー 銘柄	單 價	引 渡 月日

参照

●皮革配給統制規則

昭和十三年七月一日
商工省令第四十五號

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リ皮革配給統制規則左ノ通定ム

皮革配給統制規則

第一條 本規則ニ於テ皮トハ牛(黄牛ヲ含ム)、水牛、馬、騾、驢、山羊、羊、山羊、豚ノ

皮ヲ謂ヒ革トハ牛(黄牛ヲ含ム)、水牛、馬、騾、驢、山羊、羊、山羊、豚ノ

ハ酸ノ皮ヲ製シタルモノヲ謂フ

第二條 販賣ノ目的ヲ以テ牛、馬、騾、山羊、山羊、豚ノ皮ヲ屠殺シタル者ハ特別ノ事由ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除キ外其ノ皮ヲ使用若ハ消費

第三條 前條ニ掲グル者ハ毎月十日迄ニ其ノ前月中ニ販賣シタル前條ノ皮ノ種類別及取引先別數量ヲ地方長官ニ届出シ得ズ

第四條 第二條ニ掲グル者ハ商工大臣ノ指定シタル販賣業者(以下販賣業者ト稱ス)又ハ地方長官ノ指定シタル仲買人(以下仲買人ト稱ス)以外ノ

者ニ第二條ノ皮ヲ販賣スルコトヲ得ズ

仲買人ハ販賣業者以外ノ者ニ皮ヲ販賣スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケ仲買人ニ販賣スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 商工大臣ノ指定シタル輸入業者(以下輸入業者ト稱ス)又ハ移入業者(以下移入業者ト稱ス)ニ非ザレバ皮ヲ輸入又ハ移入スルコトヲ得ズ

但シ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 販賣業者、輸入業者及移入業者ハ毎月ノ皮ノ種類別及取引先別販賣數量ヲ定メ商工大臣ノ承認ヲ受ケベシ之ヲ變更セシムルトキ亦同シ

第七條 製革業者ハ其ノ組織スル工業組合、販賣業者、輸入業者及移入業者以外ノ

參照

● 物品販賣價格取締規則

昭和十三年七月九日
商工省令第五十六號

卷三 昭和一三 三 杉本大藏

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リ物品販賣價格取締規則左ノ
通定ム

物品販賣價格取締規則

第一條 商工大臣ノ指定スル物品ノ販賣スル者ハ何等ノ名義ヲ以テスル
間ハズ其ノ指定ノ際商工大臣ノ指定スル年月日ニ於テ販賣價格ヲ、商
工大臣又ハ地方長官ガ販賣價格ノ指定シタルトキハ其ノ販賣價格ヲ超
スル對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣(指定商ニ爲シタル契約ニ依ル引渡シ含ム)
スルコトヲ得ズ但シ輸出スル場合、取引所ニ於テ賣買スル場合及バムヲ
得ザル事由ニ依リ卸賣ニ付テハ商工大臣、小賣ニ付テハ地方長官ノ許可
ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 前條ノ物品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ニ當リ前條ノ規定ニ依ル制限ヲ超スル對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣シタル同一ノ利益ヲ舉ゲル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ物品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行為ヲ爲スコトヲ得。

大正
其ノ故
一、
指定シタル此間

者ヨリ、製革業者ノ組織スル工業組合ハ
販賣業者、輸入業者及移入業者以外ノ者
コリ皮ヲ買受クルコトヲ得ズ但シ特別ノ
事情ニ依リ商王大臣ノ許可ヲ受ケタル場
合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條ノ二 製革業者ハ其ノ買受ケタル皮ヲ商工大臣ノ指定シタル團體
(以下統制團體ト稱ス)ニ於テ用滄別ニ割當テタル數量ヲ超エ靴製(他人

ニ委託シテ紙製スル場合ヲ含ム）スルコトヲ得ズ
統制團體ハ前項ノ規定ニ依ル割當ノ用途別總數量ニ付商工大臣ノ承認ノ

第七條ノ三 製革業者他人ノ委託ヲ受ケ皮ヲ鞣製セントスルトキハ統制國
受クベシ 製革業者他人ノ委託ヲ受ケ皮ヲ鞣製セントスルトキハ統制國
受クベシ 製革業者他人ノ委託ヲ受ケ皮ヲ鞣製セントスルトキハ統制國

文ニ係ル場合並ニ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ノ限ニ在ラズ

第八條 製糖業者（製糖工場）ハ糖ノ種類別及取引先別販賣數量ヲ定メ商工當該工場組合（ハ）ハ豫メ毎月ノ華ノ種類別及取引先別販賣數量ヲ定メ商工大亞ノ承認ヲ受ケシ之ヲ變更セトスルトキ亦同ニ

製革業者其ノ鞋製シタル革(他人一委託シテ鞋製シタルモノヲ含ム)ノ用セントスルトキハ豫メ毎月ノ種類別使用數量ノ定メ商工大臣ノ承認ヲ受ケルモノトス

第九條 販賣業者、輸入業者又ハ移入業者

臣ノ指定シタル價格ヲ超エル對價ヲ以テ

ノ組織スル工業組合ヲ販賣スルトキ亦

第十條 販賣業者、輸入業者、移入業者又ハ製造業者若シテノ他ノ何人ノ販賣ノ價格ノ超エル對價ヲ以テ之ノ販賣シタルト同一ノ利益ノ限ケル

第十一條 販賣業者、仲買人、輸入業者、移入業者又ハ製菓業者若ハ

茲ニ其ノ前月ニ賣買シタル皮革ノ種類別及取引先別數量ノ農工大臣
届出ツベシ般革業者ノ使用シタル革ノ種類別數量ニ付亦同シ

第十二條 附則
皮革ノ買受及販賣並ニ革ノ使用ニ關スル事實ヲ記載スベシ

本則ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

日本標準規格圖號(一)行令

附則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

(昭和十三年商工省令第六十八號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

纖維製品販賣價格取締規則及皮革製品販賣價格取締規則ハ之ヲ廢止ス但シ
罰則ノ適用ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

日本標準規格四列(十一行全)(富井納)

●人造絹絲販賣價格取締規則

昭和十三年七月二十二日
商工省令第六十三號

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リ人造絹絲販賣價格取締規則
左ノ通定ム

人造絹絲販賣價格取締規則

第一條 人造絹絲ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ最高價格ヲ定ムル對價
ヲ以テ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ但シ輸出スル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限

ニ在ラズ

前項ノ人造絹絲ノ種類及最高價格ハ商工大臣之ヲ告示ス

第二條 前條第二項ノ種類ノ人造絹絲ノ販賣ニ當リテハ其ノ最高價格ヲ超
エル對價ヲ以テ之ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉ゲル目的ヲ以テ買戻約

款ヲ附シ、他ノ商品ヲ併シ販賣シ其ノ他之ニ類スル行為ヲ爲スコトヲ得
ズ

第三條 第一條第二項ノ種類ノ人造絹絲ハ其ノ販賣ヲ爲ス月ヨリ六月日以
後ニ於テ受渡ヲ爲スコトノ條件トシテ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ但シ輸出

並ニ其基キ商工大臣ノ承認ヲ受ケ販賣スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ但シ輸出スル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ

商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 第一條第二項ノ種類ノ人造絹絲以外ノ人造絹絲ヲ販賣シタル者ハ
毎月十日迄ニ前月中ノ販賣數量及金額ヲ別記様式ニ依リ商工大臣ニ届出

ツベシ

附則

本則ハ昭和十三年七月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年十月一日以後ニ於テハ本則施行前ニ爲シタル販賣契約ニ基キ第
一條第二項ノ種類ノ人造絹絲ノ引渡ヲ爲スコトヲ得ズ但シ昭和十三年十月

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
舊規定ニ違反シタル行爲ニ付テハ仍従前ノ
例ニ依ル

住所 氏名又ハ名稱

計		約定月日	販賣先	人當細絲 ノ種類	人當細絲 ノ路柄	單價	販賣数量	引渡月
---	--	------	-----	-------------	-------------	----	------	-----

[illegible]

昭和十三年八月二十四日
商工省令第七十五號

毛絲販賣價格取締規則

毛絲販賣價格取締規則

前項ノ種穀及最高價格ハ商工人臣之ヲ管掌ス

第二條 前條第二項ノ罪類ノ

7
7.

第四條 第一條第二項ノ種類

本則昭和十三年八月二十六

本則ハ昭和十三年八月二十六日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十三年十一月一日以後ニ於テハ本局應行函ニ爲シタル販賣契約ニ基キ
第一條第二項ノ種類ノ毛絲ノ引渡ヲ爲スコトヲ得ズ但シ昭和十三年十一月

日本標準規格JIS-X-11行今

一、販賣契約表		二、引渡表	
月日	約定 販賣先 種毛 類ノ 銘毛 類ノ 單價 数量 引渡月	月日	引渡先 種毛 類ノ 銘毛 類ノ 單價 数量 引渡月
計		計	

(記載注意)
毛絲ノ種類欄ニハ單絲、總絲、加工絲別及番手別ニ記入スルコト

参照

●商工省令第六十三號

昭和十二年法律第九十二號第二條及第三條ノ規定ニ依リ絹紡絲販賣價格取締規則左ノ通定ム

昭和十四年十月七日

商工大臣 伍堂 卓雄

絹紡絲販賣價格取締規則

第一條 絹紡絲ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ最高價格ヲ超ユル對價ヲ以テ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ但シ輸出スル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ絹紡絲ノ種類及最高價格ハ商工大臣之ヲ告示ス
第二條 前條第二項ノ種類ノ絹紡絲ノ販賣ニ當リテハ其ノ最高價格ヲ超ユル對價ヲ以テ之ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ擧ゲ

ル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ商品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第三條 第一條第二項ノ種類ノ絹紡絲ハ其ノ販賣ヲ爲ス月ヨリ四月目以後ニ於テ受渡ヲ爲スコトヲ條件トシテ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ但シ輸出スル場合又ハ特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 第一條第二項ノ種類ノ絹紡絲以外ノ絹紡絲ヲ販賣シタル者ハ毎月十日迄ニ前月中ノ販賣數量及金額ヲ別記様式ニ依リ商工大臣ニ届出ツベシ

附則

本則ハ昭和十四年十月十日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十四年十一月一日以後ニ於テハ本則施行前ニ爲シタル販賣契約ニ基キ第一條第二項ノ種類ノ絹紡絲ノ引渡ヲ爲スコトヲ得ズ但シ昭和十四年十一月又ハ十二月ニ引渡ヲ爲スモノニシテ其ノ販賣價格ガ本則施行ノ日ニ於ケル其ノ最高價格ヲ超ユザルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

別記様式

一、販賣契約表

住所

氏名又は名稱

約定月日	販賣先	絹紡絲ノ種類	絹紡絲ノ銘柄	單	價	販賣數量	引渡月
計							

二、引渡表

引渡月日	引渡先	絹紡絲ノ種類	絹紡絲ノ銘柄	單	價	引渡數量	販賣約定月日
計							

(記載注意) 絹紡絲ノ種類欄ニハ單絲、撚絲、加工絲別及番手別ニ記入スルコト

日本標準規格田製十二行全

参照

●朝鮮總督府令第二百十八號

(官報十月三十一日)

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リ朝鮮物品販賣價格取締規則左ノ通定ム

昭和十三年十月十二日

朝鮮總督 南 次郎

朝鮮物品販賣價格取締規則

第一條 朝鮮總督ノ指定スル物品ヲ販賣スル者ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ其ノ指定ノ際朝鮮總督ノ指定スル年月日ニ於ケル販賣價格ヲ、朝鮮總督又ハ道知事ガ販賣價格ヲ指定シタルトキハ其ノ販賣價格ヲ超ユル對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣(指定前ニ爲シタル契約ニ依ル引渡ヲ含ム)スルコト得ズ但シ輸出スル場合及已ムヲ得ザル事由ニ依リ卸賣ニ付テハ朝鮮總督、小賣ニ付テハ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 前條ノ物品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ニ當リ前條ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユル對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉グル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ物品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行為ヲ爲スコトヲ得ズ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

昭和十二年九月十日法律第九十二號ハ輸出ノ品ニ關スル臨時措置ニ關スル件ナリ

内

閣

參照

●朝鮮總督府令第三十一號

(官報 四月十七日)

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ
依ル皮革ノ配給統制ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十四年三月十五日

朝鮮總督 南 次郎

第八條 販賣業者又ハ製革業者ハ何等ノ名
義ヲ以テスルヲ問ハズ朝鮮總督ノ指定シ
タル價格ヲ超ユル對價ヲ以テ皮革ヲ販賣
スルコトヲ得ズ

第九條 販賣業者又ハ製革業者ハ皮革ノ販
賣ニ當リ前條ノ價格ヲ超ユル對價ヲ以テ
之ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉グル目
的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ商品ヲ併
セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行爲ヲ爲スコ
トヲ得ズ

日本標準規格圖表(十二行全)

照

●臺灣總督府令第八十四號

(官報 八月十三日)

昭和十二年法律第九十二號(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件)第二條及第三條ノ規定ニ依リ皮革配給統制規則左ノ通定ム

昭和十三年七月十四日

臺灣總督 小林 躋造

皮革配給統制規則

第一條 本令ニ於テ皮トハ牛、馬、羊又ハ豚ノ皮ヲ謂ヒ革トハ牛、馬、羊、豚、鯨又ハ鯨ノ皮ヲ製シタルモノヲ謂フ

第二條 牛、馬、羊又ハ豚ヲ屠殺シタル者ハ特別ノ事由ニ依リ知事又ハ廳長ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外其ノ皮ヲ使用若ハ消費シ又ハ屠肉ニ附著シタル儘販賣スルコトヲ得ズ

第三條 前條ニ掲グル者ハ臺灣總督ノ指定シタル者以外ノ者ニ其ノ皮ヲ販賣スルコトヲ得ズ

第四條 製革業者ハ豫メ毎月ノ革ノ種類別及取引先別販賣數量ヲ定メ臺灣總督ノ承

認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第五條 製革業者ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ間ハズ臺灣總督ノ指定シタル價格ヲ超

ニル對價ヲ以テ革ヲ販賣スルコトヲ得ズ第六條 製革業者ハ革ノ販賣ニ當リ前條ノ價格ヲ超ニル對價ヲ以テ之ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉グル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ商品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行為ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條 製革業者ハ毎月十日迄ニ其ノ前月中ニ賣買シタル皮革ノ種類別及取引先別數量ヲ臺灣總督ニ届出ヅベシ

第八條 製革業者ハ帳簿ヲ備ヘ皮革ノ買受及販賣ニ關スル事實ヲ記載スベシ

附則

本令ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

日本標準規格圖例 十一行令

參照

●臺灣總督府令第百十四號（官報十月五日）
昭和十二年法律第九十二號（輸出入品等ニ
關スル臨時措置ニ關スル件）第二條ノ規定
ニ依リ物品販賣價格取締規則左ノ通定ム
昭和十三年九月十三日

臺灣總督 小林 躋造

物品販賣價格取締規則

第一條 臺灣總督ノ指定スル物品ヲ販賣ス
ル者ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ其
ノ指定ノ際臺灣總督ノ指定スル年月日ニ
於ケル販賣價格ヲ、臺灣總督又ハ知事若
ハ廳長ガ販賣價格ヲ指定シタルトキハ其
ノ販賣價格ヲ超ユル對價ヲ以テ當該物品
ヲ販賣（指定前ニ爲シタル契約ニ依ル引
渡ヲ含ム）スルコトヲ得ズ但シ輸出スル
場合及ビ已ムヲ得ザル事由ニ依リ卸賣ニ付
テハ臺灣總督、小賣ニ付テハ知事又ハ廳
長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラ
ズ

第二條 前條ノ物品ヲ販賣スル者ハ其ノ販
賣ニ當リ前條ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユル
對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣シタルト同一
ノ利益ヲ舉グル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附
シ、他ノ商品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類
スル行為ヲ爲スコト得ズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十三年府令第八十六號皮革製品販賣價
格取締規則ハ之ヲ廢止ス但シ罰則ノ適用ニ
付テハ仍從前ノ例ニ依ル

參照

●樺太廳令第六十三號（官報 九月十三日）
昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ
依リ物品販賣價格取締規則左ノ通定ム
昭和十三年八月六日

樺太廳長官 棟居 俊一

物品販賣價格取締規則

第一條 樺太廳長官ノ指定スル物品ヲ販賣
スル者ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ヘズ
其ノ指定ノ際樺太廳長官ノ指定スル年月
日ニ於ケル販賣價格ヲ、樺太廳長官ガ販
賣價格ヲ指定シタルトキハ其ノ販賣價格
ヲ超ユル對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣（指
定前ニ爲シタル契約ニ依ル引渡ヲ含ム）
スルコトヲ得ズ但シ輸出スル場合及已ム
ヲ得ザル事由ニ依リ樺太廳長官ノ許可ヲ
受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第二條 前條ノ物品ヲ販賣スル者ハ其ノ販
賣ニ當リ前條ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユル
對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣シタルト同一
ノ利益ヲ舉グル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附
シ、他ノ物品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類
スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

昭和十二年九月十一日
昭和十二年法律第九十二號ハ輸出輸入關ニ關
スル臨時措置ニ關スル件アリ

日本標準規格四號十一行全

參照

●樺太廳令第三十六號

昭和十二年法律第九十二號（輸出入品等ニ
關スル臨時措置ニ關スル件）第一條及第三
條ノ規定ニ依リ皮革配給統制規則左ノ通定
ム

昭和十四年五月三日

樺太廳長官 棟居 俊一

第六條 製革業者ハ何等ノ名義ヲ以テスル
ヲ問ハズ樺太廳長官ノ指定シタル價格ヲ
超ユル對價ヲ以テ革ヲ販賣スルコトヲ得
ズ

第七條 製革業者ハ革ノ販賣ニ當リ前條ノ
指定價格ヲ超ユル對價ヲ以テ之ヲ販賣シ
タルト同一ノ利益ヲ舉グル目的ヲ以テ買
戻約款ヲ附シ、他ノ商品ヲ併セ販賣シ其
ノ他之ニ類スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

參照

●南洋群島物品販賣價格取締規則 昭和十三年十二月十五日
南洋廳令第三十八號

第一條 南洋廳長官ノ指定スル物品ヲ販賣スル者ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ其ノ指定ノ際南洋廳長官ノ指定スル年月日ニ於ケル販賣價格ヲ、南洋廳長官又ハ所轄支廳長ガ販賣價格ヲ指定シタルシキハ其ノ販賣價格ヲ超ユル對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣（指定前ニ爲シタル契約ニ依ル引渡ヲ含ム）スルコトヲ得ズ但シ輸出スル場合其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ依リ南洋廳長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 前條ノ物品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ニ當リ前條ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユル對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉グル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ他ノ物品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

日本標準規格四號（十一行全）

寫

昭和十四年十月二十三 日

法制局 宮内 参事 官

農 林 省

石 井 文 書 課 長 殿

肅啓過日御話申上置候左記書類玆許及送付候條御查收相煩度候

記

一 價格等統制令第十五條第六號但書ノ漁船ノ賣買價格及賣賃料ノ

解釋ニ關スル覺書附記

二 同號但書ノ農林水產物及農林水產業專用物品ノ加工品ノ解釋ニ

關スル覺書附記

追而前記一ノ寫ハ遞信省管船局新谷總務課長宛、二ノ寫ハ商工
省豐田文書課長宛送付致置候條爲念申添候

一
附記

價格等統制令第十五條第六號但書、漁船ノ賣買
價格及貸貸料トハ漁船ヲ漁船トシテ賣買又ハ貸貸
スル場合、賣買價格又ハ貸貸料ニ限ルモノトス

右覺書ハ閣令審議ノ經過ニ徴シ「加工賃ニ付テハ」ノトニ「閣令ヲ以テ一應規定シタルモ」ノ一句ヲ挿入セラレアルト同一ノ趣旨ナルコトヲ農林及商工關係官竝ニ法制局第二部ニ於テ諒解シ居レリ。

昭和十四年十月二十三日

法制局 宮内 参事官

逓信省 管船局

新谷 總務課長 殿

拜啓 當方ニ於テ閣議書類ニ附記致候左記書類寫茲許及送付候條御査
收相煩度候也

記

價格等統制令第十五條第六號但書ノ漁船ノ賣買價格及賃貸料ノ解釋ニ
關スル覺書附記

追而前掲書類寫ハ農林省石井文書課長宛送付致置候條爲念申添候

昭和十四年十月二十三日

法制局 官 内 参 事 官

商 工 省

豊田 文 書 課 長 殿

拜啓當方ニ於テ閣議書類ニ附記致候左記竊茲許及送付候條御査収相煩度候也

記

價格等統制令第十五條第五號ノ農林水產物及農林水產業專用物品ノ加工賃ノ解釋ニ關スル覺書附記

追而前掲書類ノ寫ハ別途農林省石井文書課長宛送付致置候條爲念申添候